

厚生労働科学研究費補助金【エイズ対策政策研究事業】
HIV 検査体制の改善と効果的な受検勧奨のための研究
(分担) 研究報告書

効果的な HIV 検査受検勧奨にかかる普及啓発の研究
(インターネットサイトの活用)

研究分担者 佐野 貴子 (神奈川県衛生研究所)
研究協力者 土屋 菜歩 (東北大学 東北メディカル・メガバンク機構)
研究協力者 須藤 弘二 (株式会社ハナ・メディテック)
研究協力者 近藤真規子 (株式会社ハナ・メディテック)
研究協力者 星野 慎二 (特定非営利活動法人 SHIP)
研究協力者 井戸田一朗 (しらかば診療所)
研究協力者 清水 茂徳 (東日本国際大学)
研究協力者 生島 嗣 (特定非営利活動法人 ぶれいす東京)
研究協力者 岩橋 恒太 (特定非営利活動法人 akta)
研究協力者 加藤 修吾 (株式会社 cinra)
研究協力者 今井 光信 (田園調布学園大学)
研究協力者 加藤 眞吾 (株式会社ハナ・メディテック)
研究協力者 市川 誠一 (金城学院大学)
研究協力者 白阪 琢磨 (独立行政法人国立病院機構大阪医療センター)
研究協力者 今村 顕史 (東京都立駒込病院)

研究要旨

HIV 検査情報の効果的な普及啓発手段の一つであるインターネットを利用して、保健所等 HIV 検査相談施設情報や HIV/エイズの基礎知識などを継続的に提供することにより、HIV/エイズの知識普及や理解促進、HIV 検査希望者への受検サポートを目的としたウェブサイト「HIV 検査・相談マップ」(<https://www.hivkensa.com>、以下 HIV サイトと略) の管理運営を行った。また、近年の梅毒感染者急増への対策の一助として、性感染症検査の施設情報検索や知識普及を目的としたウェブサイト「性感染症検査・相談マップ」(<https://www.stikensa.com>、以下 STI サイトと略) を 2024 年 3 月に公開し、管理運営および掲載内容の充実を図った。「HIV 検査・相談マップ」および「性感染症検査・相談マップ」の情報提供効果を調査するため、アクセスアナライザーで利用状況等の解析を行った。「HIV 検査・相談マップ」については、保健所等 HIV 検査担当者を対象に利用状況に関するアンケート調査を実施した。また、2024 年 8 月末に HIV 迅速検査試薬の受注停止の発表がされ、保健所等即日検査施設で混乱が生じ、検査実施体制の変更を行った施設があったことから、その影響を調査した。

2024 年の HIV サイトの年間サイトアクセス数は約 87 万件であり、前年と比較して 26%の減少となった。その明確な要因は不明であるが、HIV 感染症への関心の低下に加えて、SNS 等による情報取得や検索行動の多様化があると考えられた。HIV サイトへのアクセス方法は検索エンジン経由が 87%、直接アクセスが 10%であった。2024 年に検索エンジンから当サイトにアクセスする際に多く使用された検索用語は、「HIV」、「HIV 検査」、「エイズとは」、の順で、これらの用語での検索エンジンでの平均掲載順位は 1.2~2.7 であった。サイトコンテンツのページビュー数は「検査・相談施設を探す」、「HIV・エイズって何?」、「トップページ」の順で多かった。

保健所等への HIV 検査相談に関するアンケート調査では、当サイトを閲覧したことがある担当者は保健所で 94%、特設検査施設で 83%、当サイトが HIV 検査相談事業に役立っていると回答した担当者は保健所で 76%、特設検査施設で 72%であった。保健所と特設検査施設の 7 割以上の担当者が事業に役立っていると回答した。2024 年 8 月に生じた迅速検査試薬の受注停止では、保健所等即日検査施設の約 2 割で HIV 検査受付中止等の対応を取っていたことが分かった。

STI サイトの年間サイトアクセス数は約 18 万件であり、そのうちの 96%は 8 月に行われた厚生労働省の性感染症普及事業による広報により誘導されたものであった。検索用語は「性感染症」、「性病」では、検索順位の上位に表示されないことから、今後、SEO 対策を講じていく必要があると考える。

HIV サイトは 2001 年に HIV 検査研究班の公式サイトとして開設以来、2024 年末までに合計 2,870 万件のアクセスがあった。当サイトは保健所等 HIV 検査相談施設の情報を多く掲載しており、自治体の HIV/エイズ情報サイト、日本赤十字社の献血者への配布文書、NPO・民間企業等が作成する啓発用パンフレットなどで多方面に紹介され、行政的にも有効活用されている。また、STI サイトは、梅毒等の性感染症検査施設の情報提供していることから、自治体サイト等での活用が期待される。今後も正確で信頼される HIV・性感染症検査情報を提供していくとともに、HIV/エイズおよび性感染症の理解促進と、検査希望者の受検アクセス向上に寄与したい。

A. 研究目的

インターネットを利用して、保健所等 HIV 検査相談施設情報や HIV/エイズの基礎知識などを継続的に提供することにより、HIV/エイズの知識普及や理解促進、HIV 検査希望者への受検サポートを目的としたウェブサイト「HIV 検査・相談マップ」(<https://www.hivkensa.com>) の管理運営を行った。また、近年の梅毒感染者の急増対策への一助として、性感染症検査の施設情報検索や知識普及を目的としたウェブサイト「性感染症検査・相談マップ」(<https://www.stikensa.com>) を 2024 年 3 月に公開し、管理運営および掲載内容の充実を図った。「HIV 検査・相談マップ」および「性感染症検査・相談マップ」の情報提供効果を調査するため、アクセスアナライザーで利用状況等の解析を行った。「HIV 検査・相談マップ」については、保健所等 HIV 検査担当者を対象に活用状況に関するアンケート調査を実施した。また、2024 年 8 月末に HIV 迅速検査試薬の受注停止に伴う混乱が保健所等即日検査施設で生じたことから、検査実施体制変更等の影響を調査した。

B. 研究方法

1. ウェブサイト「HIV 検査・相談マップ」運営

(1) 新規情報掲載、情報修正作業

保健所等検査相談施設および研究班の協力民間クリニックで実施されている常設の HIV 検査情報や不定期に実施される検査イベントの情報、また、HIV/エイズに関する基礎知識等について、ウェブサイト「HIV 検査・相談マップ」

(以下、HIV サイトと略) に掲載し、情報提供を行った (図 1)。PC サイトは 2001 年 9 月、携帯電話サイトは 2003 年 4 月に開設し、2009 年 10 月には PC サイトおよび携帯電話サイトのリニューアル、2013 年はスマートフォンサイトを開設し、2019 年 6 月には PC サイトとスマートフォンサイトについてトップページ操作性向上のためのレイアウト変更を行った。2021 年 3 月にはサイトの全面リニューアルとして、コンテンツ管理システム (CMS) の変更および新規デザインの作成を行い、レスポンス対応のリニューアルサイトを公開するとともに、携帯電話サイトの運用を終了した。

定期更新作業としては、2025 年 2 月に新年度の検査日程等の情報確認のため、自治体 156 箇所お

よび医療機関52箇所にて新年度情報確認依頼文書を送付し、3月中旬から修正作業を順次実施した。また通年の作業として、検査施設の新規掲載、掲載情報修正および検査イベント情報の掲載等を行った。

(2) サイト利用状況の調査 ―Web解析―

HIVサイトのアクセス解析には「Google アナリティクス4」および「検索順位ツールGRC」を用いた。Google アナリティクスは2023年7月1日からユニバーサルアナリティクス (UA) からGoogleアナリティクス4 (GA4) に切り替わり、ページビューのセッション単位からユーザーのイベント単位でデータを計測する分析ツールとなった。これまで本サイトで解析してきたセッション数の収集が可能なデータもあったが、収集できないデータもあり、一部の解析はセッション単位からユーザー単位の解析に切り替えた。①サイトアクセス数 (セッション数: 年別、月別、日別)、②セッション数とユーザー数の年次推移、③情報端末別ユーザー割合、④チャンネル別ユーザー割合、⑤検索エンジン

(Google) での検索クエリ別順位、⑥参照元からのアクセス数、⑦サイトコンテンツの表示回数、⑧アクセス地域およびアクセス言語、⑨外国語ページのページビュー数を調査し、利用者の動向およびHIV/エイズ関連報道によるアクセス数の影響等を解析した。

(3) サイト活用状況の解析 ―アンケート調査―

保健所・検査所における HIV 検査・相談体制に関する調査 (研究分担者 土屋菜歩先生) において、保健所および特設検査施設の HIV 検査担当者に対し、当サイトの利用状況や HIV 検査相談事業への活用等に関するアンケート調査を実施した。

(4) 迅速検査試薬受注停止に伴う影響の調査

2024年8月末に HIV 迅速検査試薬 (ダイナスクリーン HIV Combo) の生産遅延による受注停

止および出荷制限の発表がされた。それに伴う混乱が保健所等即日検査施設で生じ、検査実施体制の変更を行った施設があったことから、その影響を調査した。

2. ウェブサイト「STI検査・相談マップ」運営

(1) 新規情報掲載、情報修正作業

保健所等検査相談施設および研究班の協力民間クリニックで実施されている常設性感染症検査の情報や不定期に実施される検査イベントの情報、また、性感染症に関する基礎知識等について、ウェブサイト「STI検査・相談マップ」

(以下、STIサイトと略) に掲載し、情報提供を行った (図2)。STIサイトはHIVサイトの姉妹サイトとの位置づけで2024年3月に公開し、本年度は管理運営および掲載内容の充実を図った。

(2) サイト利用状況の調査 ―Web 解析―

HIV サイトと同様に「Google アナリティクス4」および「検索順位ツール GRC」を用いてアクセス解析を行った。

(3) サイト活用状況の解析 ―アンケート調査―

保健所・検査所における HIV 検査・相談体制に関する調査 (研究分担者 土屋菜歩先生) において、保健所および特設検査施設の HIV/STI 検査担当者に対し、STI サイトの認知度に関するアンケート調査を実施した。

C. 研究結果

1. ウェブサイト「HIV検査・相談マップ」運営

(1) 新規情報掲載、情報修正作業

2024年は保健所等HIV検査相談施設662箇所の検査情報の掲載を行い、検査イベント情報依頼177件、情報修正依頼604件 (うち検査施設からの依頼482件) の更新作業を行った (図3)。

(2) HIV サイト利用状況の調査 ―Web 解析―

PC サイト、スマートフォンサイトおよび携帯

電話サイトでの 2001 年からの合計アクセス数は約 2,867 万件となった（図 4）。2024 年の年間サイトアクセス数（セッション数）は約 87 万件であり、前年と比較して 26%の減少となった。その明確な要因は不明であるが、HIV 感染症への関心の低下に加えて、SNS による情報取得や検索行動の多様化等があると考えられた。Google アナリティクスは 2023 年 7 月 1 日から UA から GA4 に切り替わり、ページビューのセッション単位からユーザーのイベント単位でデータを計測する分析ツールとなったことから、セッション数およびユーザー数の年次推移を見たところ、2020 年以降、ユーザー数はセッション数の約 8 割であり、2024 年のユーザー数は 2023 年の 30%の減少であることが分かった（図 5）。

2024 年の月別アクセス数（セッション数）は、2023 年を下回り、月平均 7 万件前後で推移した（図 6）。日別のユーザー数では、1 日 5,000 アクセスを超えた日は 1 日であった。5 月 14 日に放映されたテレビ番組「ザ！世界仰天ニュース」の薬害エイズ特集により、7,102 件のアクセスがあった（図 7）。

情報端末別ユーザー数の割合は、スマートフォンからのユーザー数が 81%であった（図 8）。チャネル別ユーザー数の割合では、検索エンジンからのアクセスが 87%、直接アクセスが 10%、他サイトからのアクセスが 3%、SNS からのアクセスが 0.3%であった（図 9）。

検索エンジン（Google）における検索クエリ別の月別検索順位をみたところ、「HIV」では通年で 1～2 位、「エイズ」では 1～6 位、「AIDS」では 2～6 位、「性病」では 2～4 位、「梅毒」では 5～35 位で推移した（図 10）。「HIV」、「エイズ」と「検査」の用語の組み合わせ、また、「HIV」と「test」の用語の組み合わせでは通年で 1 位に表示された。「HIV」、「検査」、「キット」の用語の組み合わせ

では、通年で 9～15 位であった。

検索エンジン（Google）での検索に用いられたクエリ別の順位を 10 位まで調査したところ、2024 年に検索エンジンで当サイトを閲覧する際に一番多く使用された検索用語は「HIV」であり、以下、「HIV 検査」、「エイズとは」、「エイズ」、「HIV とは」の順で、これらの用語での検索エンジンでの平均掲載順位は 1.2～4.0 であった（図 11）。また、6 位以降には「性病」、「エイズ症状」、「梅毒症状」、「梅毒」、「性病症状」と続き、検索用語の平均掲載順位は 4.6～8.7 であった。

参照元からのユーザー数を見たところ、Google 検索からが最も多く約 45 万件、Yahoo! JAPAN 検索からが約 11 万件、直接アクセスが約 6.9 万件であった（図 12）。

サイトコンテンツの表示回数は約 153 万件で、一番よくみられたページは「検査・相談施設を探す」で約 33 万回、2 位が「HIV・エイズって何？」で約 24 万回、3 位が「トップページ」で約 17 万回であり、次いで「これって、性感染症？」、「梅毒って、なに？」と続いた。（図 13）。

検査・相談施設別表示回数は、「chot CAST（大阪検査相談・啓発・支援センター）」が最も多く、次いで「東京都新宿東口検査・相談室」、「札幌市中央保健センター」、「神戸市保健所」、「京都市（昼間検査・夜間検査）（検査会場：一般財団法人京都工場保健会）」であった（図 14）。

当サイトへのアクセス地域は、日本からが 64 万人、国外からが 1 万 5 千人（上位 3 か国：中国 2,883 人、米国 2,520 人、タイ 1,297 人）であった。アクセス言語では、日本語が 63 万人、外国語が 3 万 6 千人（上位 3 言語：英語 20,448 人、中国語 5,771 人、ベトナム語 2,313 人）であった（図 15）。外国語ページ（英語、スペイン語、タイ語、タガログ語、ベトナム語、ポルトガル語、

韓国語、中国語およびやさしい日本語）のページビュー数は、英語ページが7,147件、ベトナム語が1,900件、やさしい日本語が1,485件、中国語が916件であった（図16）。

（3）HIV サイト活用状況の解析 ―アンケート調査―

全国保健所および特設検査施設に対して実施した HIV 検査相談に関するアンケート調査において、当サイトの利用状況や HIV 検査相談事業への貢献度に関する質問を HIV/エイズ対策担当者に質問した。「当サイトを閲覧したことがあるか」の設問に対しては、「ある」との回答は保健所 94%、特設検査施設 83%（図 17）、「当サイトが事業に役立っていると思うか」の設問では、「思う」の回答は保健所 76%、特設検査施設 72%であった（図 18）。

（4）迅速検査試薬受注停止に伴う影響の調査

2024 年 8 月末に迅速検査試薬（ダイナスクリーン HIV Combo）の生産遅延による受注停止および出荷制限の発表がされた（図 19）。保健所等即日検査施設で一部検査中止等の対応が取られたことから、HIV サイトおよび STI サイト閲覧時に注意喚起文をポップアップ表示した（図 20）。また、保健所等即日検査施設で混乱が生じたことから、検査実施体制変更等の影響を調査した。8 月末に受注停止が発表されてから、検査体制を変更した施設数は、9 月 20 日時点で 27 施設、10 月 1 日時点で 46 施設、10 月 9 日時点で 57 施設と増加したが、9 月末に海外販売向け製品の臨時出荷がされ、さらに 12 月 16 日には出荷が再開されたことから、検査体制を元に戻す施設も増加した。2025 年 1 月 14 日時点での検査体制を変更した施設の合計数は 69 施設であり、うち 52 施設（75%）は元の検査体制に戻ったが、未だに HIV 検査受付中止が 1 施設、検査縮小が 2 施設、一時的に即日検査中止が 8 施設、即日検査から通常検査へ体

制変更が 6 施設あり、17 施設は影響を受けたままとなっていることが分かった。保健所等即日検査を実施している 364 施設の約 2 割で HIV 検査受付中止等の対応が取られていたことが分かった。

2. ウェブサイト「STI検査・相談マップ」運営

（1）新規情報掲載、情報修正作業

2024 年は性感染症検査を実施している保健所等検査相談施設 659 箇所の検査情報の掲載を行い、検査イベント情報依頼 177 件、情報修正依頼 601 件（うち検査施設からの依頼 482 件）の更新作業を行った（図 22）。

（2）STI サイト利用状況の調査 ―Web 解析―

STI サイトは 2024 年 3 月に公開し、2024 年 4 月から 12 月のサイトアクセス数（セッション数）は 183,037 件であった（図 23）。そのうち 175,492 件は 8 月 1 日から 31 日に厚生労働省の性感染症啓発事業で実施された広告掲載（X 広告、ヘブネット GATE 広告）により誘導されたものであった（図 24）。

検索エンジン（Google）における検索クエリ別の月別検索順位をみたところ、「性感染症検査では」8 月以降で 8～92 位、「性感染症検査相談」では 2～4 位、「性感染症検査相談マップ」では 1～2 位であったが、「性感染症」、「性病」の検索用語では検索順位の上位に表示されなかった（図 25）。

検索エンジン（Google）での検索に用いられたクエリ別の順位を 10 位まで調査したところ、2024 年に検索エンジンで STI サイトを閲覧する際に多く使用された検索用語は「性感染症 相談」で平均掲載順位は 13.1 であった（図 26）。

（3）STI サイト活用状況の解析―アンケート調査―

保健所・検査所における HIV 検査・相談体制に関する調査（研究分担者 土屋菜歩先生）にお

いて、保健所および特設検査施設の HIV/STI 検査担当者に対し、STI サイトの認知度に関するアンケート調査を実施したところ、保健所の 87%、特設検査施設 72%で認知されていた（図 27）。

D. 考察

2024 年の HIV サイトの年間サイトアクセス数は約 87 万件であり、前年と比較して 26%の減少となった。その明確な要因は不明であるが、HIV 感染症への関心の低下に加えて、SNS 等による情報取得や検索行動の多様化があると考えられた。

情報端末別ユーザー数の割合は、スマートフォンからのユーザー数が 81%を占めており、スマートフォンでの表示を主としたサイト構成が重要と思われた。チャネル別ユーザー数の割合では、検索エンジンからのアクセスが 87%、直接アクセスが 10%、他サイトからのアクセスが 3%、SNS からのアクセスが 0.3%であり、SNS からのアクセス割合が依然として少ないことが分かった。参照元からのユーザー数は検索サイトからがほとんどを占めたが、X（旧 Twitter）リンクからのアクセスも見られたことから、さらに SNS リンクからのアクセス数を増加させる方法を検討していく必要があると思われた。

2024 年に検索エンジンで当サイトを閲覧する際に多く使用された検索用語の上位 10 語は「HIV」、「HIV 検査」、「エイズとは」、「エイズ」、「HIV とは」、「性病」、「エイズ症状」、「梅毒症状」、「梅毒」、「性病症状」の順であり、未だに HIV サイトに性感染症に関する検索用語でのアクセスが多いことが分かった。2024 年 3 月に STI サイトを開設し、12 月までに 18 万件のアクセスがあったが、そのアクセス数のほとんどが 8 月に厚生労働省の性感染症啓発事業で実施された広告掲載によって誘導されたものであり、他の月は STI

サイトのアクセス数が増加していないことが分かった。STI サイトの検索エンジンでの表示順位が上位にあがることでアクセス数が増えることが期待されることから、今後は STI サイトの SEO 対策に力を入れて行きたいと考える。

HIV サイトへのアクセス言語は、日本語ユーザーが 95%を占めていたが、外国語ユーザーも 5%存在していた。2024 年の外国語ページのアクセス数は、英語ページ 7,147 件・ベトナム語 1,900 件・やさしい日本語 1,485 件・中国語 916 件であり、実際の外国語ユーザー数よりも少ないことから、外国語ユーザーは日本語ページを翻訳機能で利用していることも示唆された。近年、在留外国人や訪日外国人が増加していることから、日本での HIV 検査体制を周知する上でも本サイトは役立っていると考えられる。

2024 年 8 月末に迅速検査試薬（ダイナスクリーン HIV Combo）の生産遅延による受注停止および出荷制限の発表がされ、保健所等即日検査施設で混乱が生じ、一部検査中止等の対応が取られたことから、検査実施体制変更等の影響を調査したところ、2025 年 1 月時点での即日検査の体制変更施設合計数は 69 施設であり、保健所等即日検査を実施している 364 施設の約 2 割で HIV 検査受付中止等の対応が取られていたことが分かった。69 施設中 52 施設（75%）は元の検査体制に戻ったが、未だに 17 施設は影響を受けたままとなっている。現状、国内の体外診断薬として承認されている迅速 HIV 検査試薬の製造会社は 1 社しかなく、生産拠点も 1 か所しかないことから、今回のような不測の事態に備えて、即日検査体制の代替案を事前に検討しておく必要があることを認識した。

保健所等への HIV 検査相談に関するアンケート調査では、HIV サイトを閲覧したことがある担当者は保健所で 94%、特設検査施設で 83%、HIV

サイトが HIV 検査相談事業に役立っていると回答した担当者は保健所で 76%、特設検査施設で 72%であった。保健所と特設検査施設の 8 割以上の担当者が HIV サイトを閲覧したことがあり、7 割以上の担当者が事業に役立っていると回答した。また、STI サイトを閲覧したことがある担当者は保健所で 87%、特設検査施設で 72%であり、保健所と特設検査施設の 7 割以上の担当者が閲覧経験のあることが分かった。

HIV サイトは HIV 検査研究班の公式サイトとして 2001 年に開設し、2024 年末までに約 2,870 万件のアクセスがあった。全国の保健所等 HIV 検査相談施設の情報を提供するとともに、HIV/エイズ情報提供ページとしても機能している。また、当サイトは自治体の HIV/エイズ情報媒体、日本赤十字社の献血者への配布文書、啓発用パンフレット等、多方面で紹介され、行政的にも有効活用されている。また、STI サイトは、梅毒等の性感染症検査施設の情報提供をしていることから、自治体サイト等での活用が期待される。今後も正確で最新の HIV・性感染症検査情報を提供していくとともに、更なる HIV/エイズおよび性感染症の理解促進と、検査希望者の受検アクセスの向上に寄与したい。

E. 結論

効果的な HIV 検査の普及啓発の一助として、ウェブサイト「HIV 検査・相談マップ」を運営し、保健所等 HIV 検査相談施設の最新情報や HIV 検査に関する基礎知識等の情報を継続的に提供した。また、近年の梅毒感染者の急増への対策の一助として、性感染症検査の施設情報検索や知識普及を目的としたウェブサイト「性感染症検査・相談マップ」を 2024 年 3 月に公開し、管理運営および掲載内容の充実を図った。アクセス解析から、利用状況や閲覧ページの動向等を調査した。

2024 年の HIV サイト訪問数は約 87 万件であり、前年と比較して 26%の減少となった。その明確な要因は不明であるが、HIV 感染症への関心の低下に加えて、SNS による情報取得や検索行動の多様化があると考えられた。

STI サイト訪問数は約 18 万件であり、そのうち 96%は 8 月に行われた厚生労働省の性感染症普及事業による広報により誘導されたものであった。検索用語は「性感染症」、「性病」では検索順位の上位に表示されないことから、SEO 対策を講じていく必要がある。

保健所等アンケート調査結果から、保健所と特設検査施設の 8 割以上の担当者が HIV サイトを閲覧したことがあり、7 割以上の担当者が HIV 検査相談事業に役立っていると回答した。今後も保健所等 HIV/性感染症検査相談事業に寄与することにより、HIV/性感染症検査希望者への受検サポートに努めたい。

<サイト URL・掲載情報転載依頼>

※サイト事務局把握分のみ記載

1. 日東書院本社（辰巳出版グループ）、単行本「女性の心と体の悩みがスーッと消える 13 歳から一生モノの 膣と子宮の取り扱い大全」に HIV サイト URL を紹介
2. 高等学校保健体育教科書、HIV サイト画面キャプチャ紹介
3. 集英社 SPUR.JP、保健所検査体験レポートで HIV サイトの利用法を紹介
4. 東海大学、小冊子「大学生のための性的同意ハンドブック～互いを尊重しあう学生生活のために～」で HIV サイト URL を紹介
5. 株式会社 TENGA ヘルスケア、ウェブページ「おとなセイシル」に当サイト URL を紹介
6. 宮崎市保健所、「性感染症まちかど出張予防啓発・検査事業」で STI サイト動画「今、梅毒

が流行中?」、「もしかして?と思ったら」、画像「口の中に出る症状」、「皮膚に出る症状」を紹介

7. 国立病院機構甲府病院、冊子「HIV・STI 予防啓発キャンペーン」に HIV サイト URL を紹介
8. 国立国際医療研究センターACC 医療情報室、ACC パネル展で HIV サイト URL を紹介

F. 健康危険情報

なし

G. 研究発表

1. 論文発表

- 1) 豊倉いつみ、佐野貴子、櫻木淳一、チョンピンフィー、森壘、鳥巢浩幸、奥村彰久、吉良龍太郎、多屋馨子。急性弛緩性麻痺 (AFP)に関する全国実態調査 (一次調査)。日本小児科学会雑誌、129(1):44-47、2025.
- 2) 椎野禎一郎、渦永博之、今橋真弓、渡邊大、南留美、蜂谷敦子、西澤雅子、林田庸総、吉田繁、豊嶋崇徳、伊藤俊広、古賀道子、貞升健志、佐野貴子、宇野俊介、谷口俊文、猪狩英俊、寒川整、中島英明、吉野友祐、堀場昌英、茂呂寛、渡邊珠代、阪野文哉、川畑拓也、藤井輝久、高田清武、中村麻子、仲村秀太、松下修三、吉村和久、杉浦互、菊地正、薬剤耐性 HIV 調査ネットワーク。国内 HIV-1 伝播クラスターの 2022 年の動向:薬剤耐性 HIV 調査ネットワークによる SPHNCS 年報。日本エイズ学会誌、26、3、139-150、2024.
- 3) 川畑拓也、阪野文也、浜みなみ、長島真美、河上麻美代、貞升健志、佐野貴子、加藤眞吾、須藤弘二、近藤真規子、今村顕史。地方衛生研究所における HIV 確認検査に関するアンケート調査結果。病原微生物検出情報、45、10、165-166、2024.
- 4) 佐野貴子、豊倉いつみ、稲田貴嗣、渡邊寿美、鈴木理恵子、伊藤舞、木村睦未、大屋日登美、櫻木淳一。神奈川県における手足口病およびヘルパンギーナ患者の発生动向と検出ウイルス株の解析 (2016～2023 年)。神奈川県衛生研究所研究報告、54、24-30、2024. なし

2. 学会発表

- 1) 佐野貴子、小松洋介、伊藤淳、鈴木堯大、鈴木理恵子、渡邊寿美、大屋日登美、山田壮一、多屋馨子。神奈川県内の水痘入院例患者から検出された水痘帯状疱疹ウイルスのワクチン株と野生株の分別。第 28 回日本ワクチン学会・第 65 回日本臨床ウイルス学会 合同学術集会、2024 年 10 月 26-27 日、名古屋。
- 2) 佐野貴子、土屋菜歩、渡邊大地、須藤弘二、近藤真規子、星野慎二、井戸田一朗、清水茂徳、生島 嗣、岩橋恒太、今井光信、加藤眞吾、市川誠一、白阪琢磨、今村顕史。ウェブサイト「HIV 検査・相談マップ」のサイト利用状況および新規ウェブサイト「性感染症検査・相談マップ」の開設について。第 38 回日本エイズ学会学術集会・総会、2024 年 11 月 28-30 日、東京。
- 3) 川畑拓也、阪野文哉、浜みなみ、長島真美、河上麻美代、貞升健志、佐野貴子、近藤真規子、須藤弘二、加藤眞吾、今村顕史。地方衛生研究所における HIV 確認検査に関するアンケート調査結果。第 38 回日本エイズ学会学術集会・総会、2024 年 11 月 28-30 日、東京。
- 4) 土屋菜歩、佐野貴子、城所敏英、川畑拓也、貞升健志、須藤弘二、加藤眞吾、大木幸子、

- 生島嗣、今井光信、今村顕史。保健所・検査所における HIV 検査・相談体制と実施状況および課題に関するアンケート調査。第 38 回日本エイズ学会学術集会・総会、2024 年 11 月 28-30 日、東京。
- 5) 土屋菜歩、佐野貴子、城所敏英、川畑拓也、貞升健志、須藤弘二、加藤眞吾、大木幸子、生島嗣、今井光信、今村顕史。保健所・検査所における梅毒検査実施状況および陽性率に関するアンケート調査。第 38 回日本エイズ学会学術集会・総会、2024 年 11 月 28-30 日、東京。
- 6) 須藤弘二、佐野貴子、近藤真規子、今井光信、今村顕史、加藤眞吾。HIV 郵送検査に関する実態調査 (2023)。第 38 回日本エイズ学会学術集会・総会、2024 年 11 月 28-30 日、東京。
- 7) 菊地正、西澤雅子、椎野禎一郎、豊嶋崇徳、伊藤俊広、林田庸総、潟永博之、古賀道子、長島真美、貞升健志、佐野貴子、宇野俊介、谷口俊文、猪狩英俊、寒川整、中島英明、吉野友祐、堀場昌英、茂呂寛、渡邊珠代、今橋真弓、蜂谷敦子、松田昌和、重見麗、岡崎玲子、岩谷靖雅、横幕能行、渡邊大、阪野文哉、川畑拓也、藤井輝久、高田清式、中村麻子、南留美、松下修三、仲村秀太、小島潮子、**Lucky Runtuwene**、吉村和久、杉浦亙。2023 年の国内新規診断未治療 HIV 感染者・AIDS 患者における薬剤耐性 HIV-1 の動向。第 38 回日本エイズ学会学術集会・総会、2024 年 11 月 28-30 日、東京。
- 8) 星野慎二、吉村幸浩、宮島真希子、李広烈、沢田貴志、佐野貴子、近藤真規子、今村顕史、井戸田一朗。SHIP における MSM を対象とした HIV/STIs 無料検査相談事業の実績。日本性感染症学会第 37 回学術大会シンポジウム、2024 年 11 月 30 日-12 月 1 日、沖縄。
- H. 知的所有権の出願・登録状況(予定を含む)**
なし

図1

ウェブサイト「HIV検査・相談マップ」

<https://www.hivkensa.com>

2001年9月開設

[PC]



[SP]



図2

ウェブサイト「性感染症検査・相談マップ」

<https://www.stikensa.com>

2024年3月開設

[PC]



[SP]



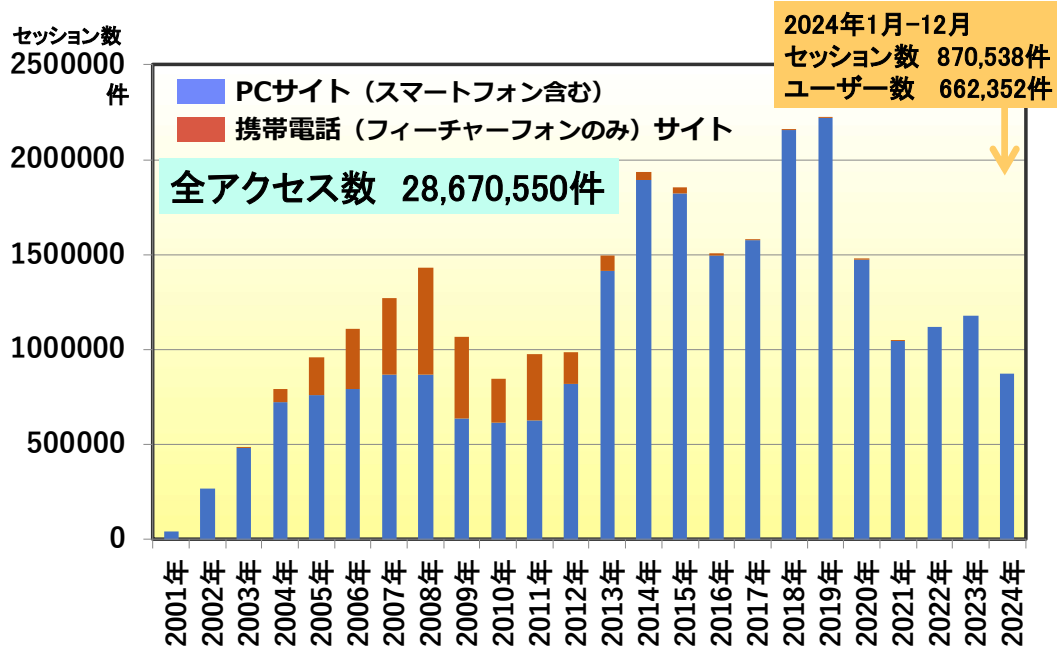
図3

HIV検査・相談マップ掲載の施設情報、 検査イベント情報、情報修正依頼件数

掲載・修正依頼	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
施設情報	647	652	657	661	663	662
検査イベント情報	145	46	69	113	163	177
情報修正依頼	420	344	351	285	421	604 (うち検査施設依頼482)

図4

HIVサイトアクセス数（2001年-2024年）



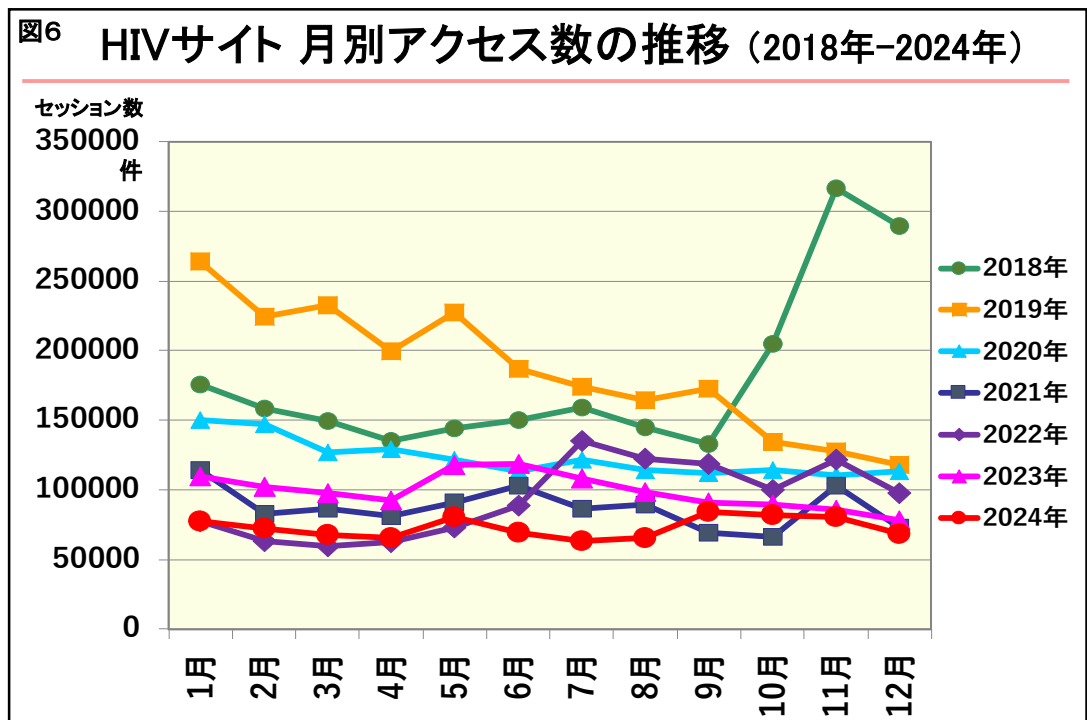
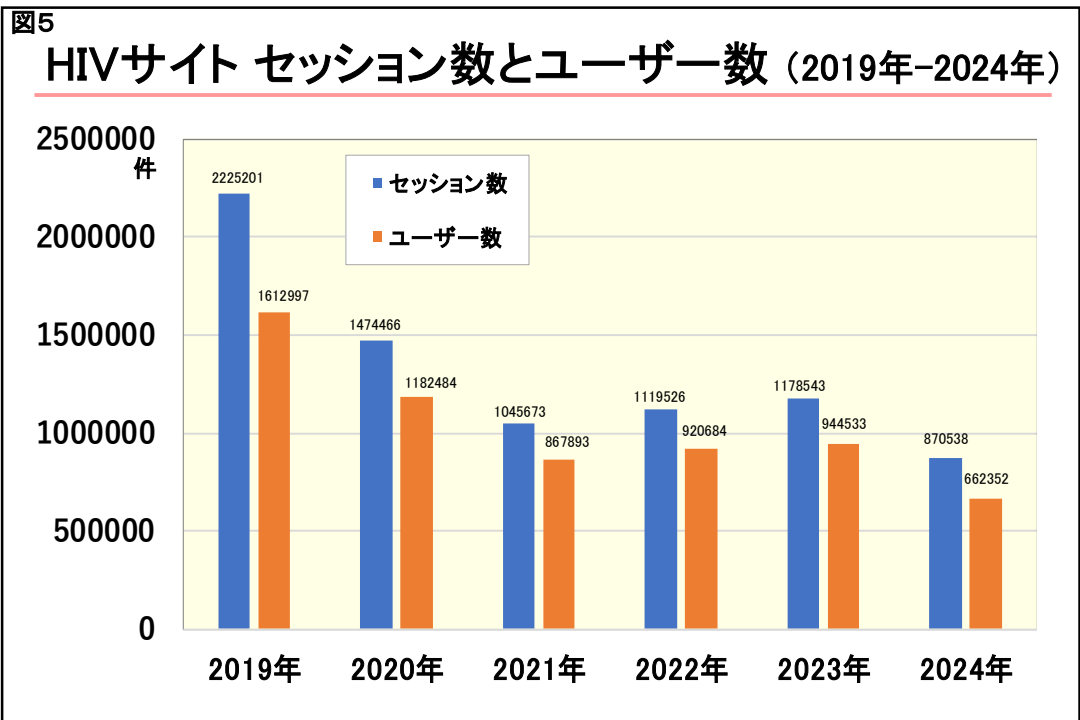


図7

HIVサイト 日別ユーザー数（2024年）

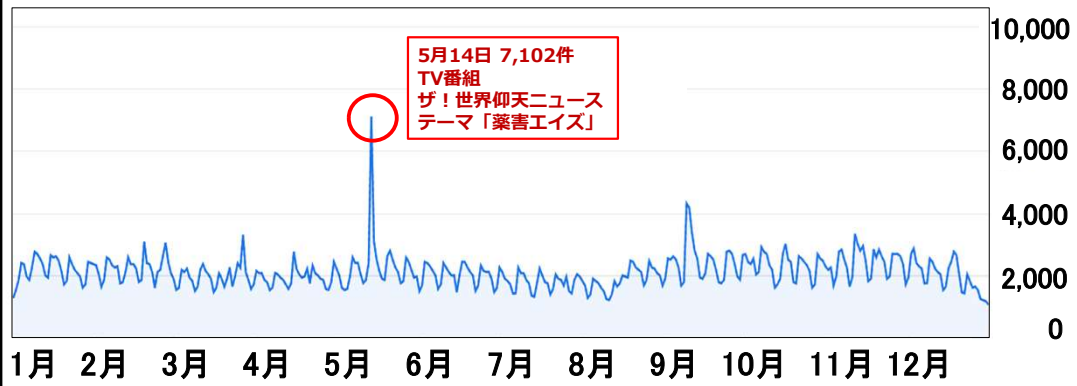
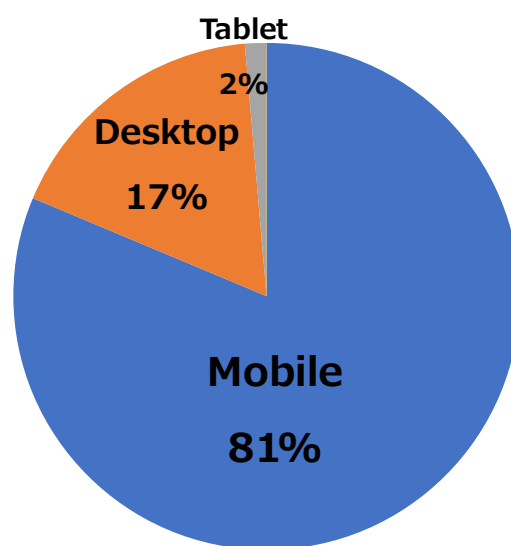


図8

HIVサイト 情報端末別ユーザー数の割合（2024年）



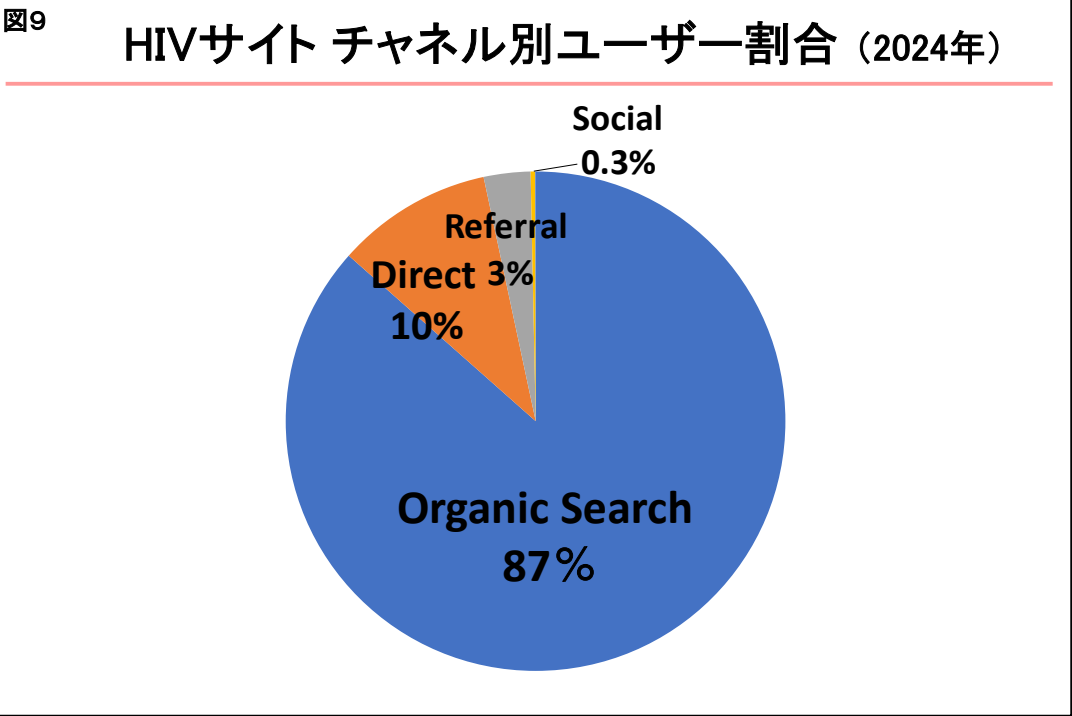


図10 HIVサイト Google検索クエリ別月別検索順位

検索クエリ	Google件数 (2025年1月)	2024年											
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
HIV	1,370,000,000	1	1	1	1	1	1	1	2	1	1	1	1
エイズ	7,220,000	4	4	5	6	4	4	4	3	2	1	1	1
AIDS	1,450,000,000	5	5	6	5	5	5	5	4	4	3	2	2
HIV 検査	4,910,000	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
エイズ 検査	3,370,000	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
HIV test	646,000,000	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
HIV 検査 キット	668,000	13	15	15	14	15	10	11	10	9	11	10	10
性病	45,700,000	2	3	3	3	4	4	2	2	2	2	2	2
梅毒	15,000,000	23	29	26	35	32	28	18	9	5	5	6	5

(PC版 検索順位チェックツールGRCで解析)

図11

HIVサイト Google検索クエリ別順位

(2024年)

順位	検索クエリ	クリック数	平均掲載順位
1	hiv	22,160	2.7
2	hiv 検査	19,451	1.2
3	エイズとは	17,550	2.5
4	エイズ	15,022	4.0
5	hivとは	14,335	2.2
6	性病	7,749	5.1
7	エイズ症状	7,644	6.2
8	梅毒症状	7,558	8.3
9	梅毒	6,068	8.7
10	性病症状	5,136	4.6

図12

HIVサイト 参照元からのユーザー数 (2024年)

	参照元	ユーザー数
1	Google 検索	452,325
2	Yahoo! JAPAN 検索	111,730
3	Direct access	68,667
4	bing 検索	8,617
5	ドコモ 検索	6,607
6	au 検索	1,719
7	楽天 ウェブ検索	1,118
8	性感染症検査・相談マップ	1,065
9	X (旧Twitter)リンク	931
10	エイズ予防情報ネット(API-Net)	893
11	日本赤十字社	819
12	厚生労働省	814

図13

HIVサイトコンテンツの表示回数(2024年)

表示回数合計 1,530,808件

	サイトコンテンツ	表示回数
1	検査・相談施設を探す	326,352
2	HIV・エイズって何？	244,824
3	トップページ	166,046
4	これって、性感染症？	61,839
5	梅毒って、なに？	55,129
6	HIV検査まめ知識	53,334
7	HIV検査Q&A	25,440
8	検査イベント情報	23,157
9	chotCAST (大阪検査相談・啓発・支援センター)	18,775
10	電話・LINE相談窓口	14,712

図14

HIVサイト 検査・相談施設別表示回数(2024年)

	検査・相談施設	表示回数
1	chotCAST(大阪検査相談・啓発・支援センター)火・木・土・日曜日検査	18,775
2	東京都新宿東口検査・相談室	10,188
3	札幌市中央保健センター	7,811
4	神戸市保健所(検査会場:三宮センタープラザ西館6階)	5,570
5	京都市(昼間検査・夜間検査)(検査会場:一般財団法人京都工場保健会)	3,618
6	加古川健康福祉事務所(加古川保健所)	3,503
7	藤沢市保健所	3,501
8	茨木保健所	3,234
9	大阪市北区保健福祉センター	3,219
10	和歌山市保健所	3,207
11	静岡県東部健康福祉センター(東部保健所)	3,101
12	あいクリニック	3,079
13	大阪府中央区保健福祉センター	3,058
14	愛知県衣浦東部保健所	3,006
15	新宿区保健所健診会場	3,003

図15

HIVサイト アクセス地域および言語（2024年）

アクセス国	ユーザー数	アクセス言語	ユーザー数
Japan	643,818	Japanese	626,623
China	2,883	English	20,448
United States	2,520	Chinese	5,771
Thailand	1,297	Vietnamese	2,313
Indonesia	836	Portuguese	651
Australia	566	Korean	607
Vietnam	526	French	352
France	500	Spanish	352
Philippines	492	Indonesian	249
Taiwan	489	Thai	182

図16

外国語ページの表示回数（2024年）

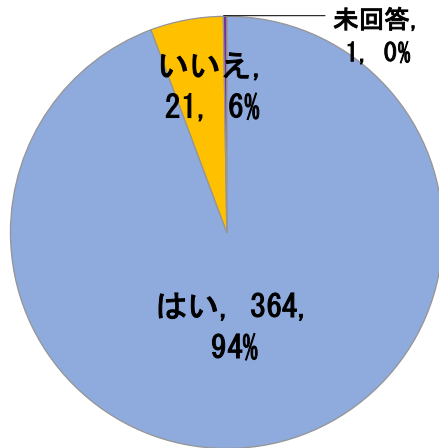
言語	表示回数
英語	7,147
ベトナム語	1,900
やさしい日本語	1,485
中国語	916
ポルトガル語	689
タイ語	326
スペイン語	244
タガログ語	92
韓国語	59

図17

(2024年)

ウェブサイト「HIV検査・相談マップ」を ご覧になったことはありますか？

(保健所386件中)



(特設検査施設18件中)

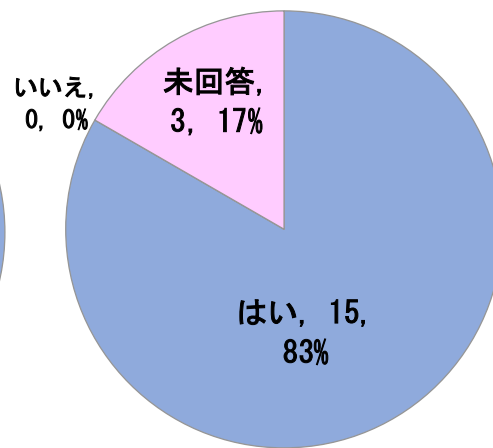
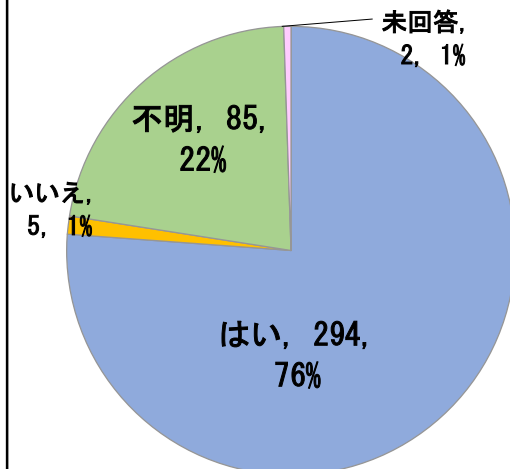


図18

(2024年)

「HIV検査・相談マップ」は検査相談事業に 役立っていると思いますか？

(保健所386件中)



(特設検査施設18件中)

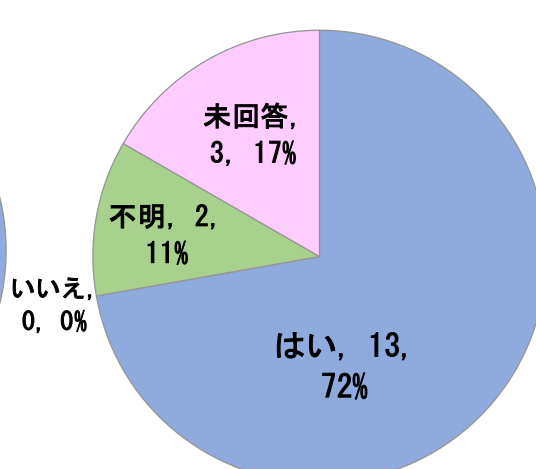


図19

ダイナスクリーン HIV Combo 受注停止



2024年8月

お客様各位

ヒト免疫不全ウイルス1p24抗原・HIV抗体キット
「ダイナスクリーンTM HIV Combo」
受注停止及び出荷制限のご案内

謹啓

時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、弊社製品「ダイナスクリーンTM HIV Combo」につきまして、生産遅延により受注停止ならびに出荷制限をさせていただくことになりましたので、ご案内申し上げます。なお、通常出荷の再開時期につきましては、確定次第ご連絡いたします。

大変ご迷惑をお掛けしますが、何卒ご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、今後とも倍田のご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

謹白

記

【受注停止及び出荷制限の対象製品】

製品名	統一商品コード	JANコード	規格
ダイナスクリーン TM HIV Combo	8000003843	4571226473856	20 回用
	8000003850	4571226473863	100 回用

体外診断用医薬品 製造販売承認番号：22700M01031000

<本情報に関するお問い合わせ先>
アボット ダイアグノスティクス メディカル株式会社
〒163-0807 東京都新宿区西新宿 2-4-1 新宿NSビル7階
お客様相談室 TEL：0120-1874-86

2024年8月
生産遅延による受注停止および
出荷制限

2024年9月
・生産遅延が解消せず、通常出荷
再開の見通しが立たない状況
・海外販売向け製品を国内向けに
臨時出荷(使用期限2025年3月)



2024年12月16日
・通常出荷再開
(使用期限2026年5月)



図20

サイト閲覧時にHIV即日検査受検に係わる 注意喚起文をポップアップ表示

(2024年9月20日～12月26日)

お問い合わせ

HIV検査相談マップ

HIV検査を受ける HIVのことを相談する HIVについて知る その他の性感染症

HIV検査を受ける

HIV testing

検査・相談施設を探す

現在、HIV即日検査に使用する迅速検査試薬の出荷停止に伴い、保健所等でのHIV即日検査が中止されている場合があります。

HIV即日検査実施施設(梅毒検査も含む)での検査をご希望される際には、自治体ホームページ等で事前に検査実施状況をご確認ください。

なお、現時点でHIV迅速検査試薬の出荷再開時期は未定となっております。

(掲載日：2024年9月20日)

X CLOSE

お問い合わせ

HIV検査相談マップ

HIV検査を受ける HIVのことを相談する HIVについて知る その他の性感染症

HIV検査を受ける

HIV testing

現在、HIV即日検査に使用する迅速検査試薬の出荷停止に伴い、保健所等でのHIV即日検査が中止されている場合があります。

HIV即日検査実施施設(梅毒検査も含む)での検査をご希望される際には、自治体ホームページ等で事前に検査実施状況をご確認ください。

なお、現時点でHIV迅速検査試薬の出荷再開時期は未定となっております。

(掲載日：2024年9月20日)

X CLOSE

図21 ダイナスクリーン受注停止による保健所等即日検査への影響

	HIV検査 受付中止	縮小 (一時的に日数・ 定員・調整等)	即日のみ中止 (一時的に即日 →通常に変更)	STI検査のみ 実施	元の体制に 戻る	即日検査から 通常検査に 体制変更	検査体制を 変更した 合計施設数
2024年8月末 ダイナスクリーン HIV Combo 出荷停止							
2024/9/20時点	2	3	16 (うち特設1)	6 (うち特設2)	0	0	27
2024/10/1時点	9 (うち特設2)	6	22 (うち特設1)	9 (うち特設2)	0	0	46
2024年9月末 ダイナスクリーン HIV Combo 海外販売向け製品再包装/使用期限切迫品 臨時出荷							
2024/10/9時点	8 (うち特設1)	4	29	9 (うち特設3)	7 (うち特設2)	0	57
2024/10/11時点	7 (うち特設1)	5	23	3	19 (うち特設5)	0	57
2024/10/30時点	4	4	17	2	30 (うち特設6)	2	59
2024/11/20時点	3	3	18	1	33 (うち特設6)	3	61
2024年12月16日 ダイナスクリーン HIV Combo 出荷再開							
2024/12/16時点	1	2	14	0	40 (うち特設6)	12	69
2025/1/14時点	1	2	8	0	52 (うち特設6)	6	69
HIV検査・相談マップ掲載数 (うち即日検査施設数)					保健所	特設検査施設	
					566(346)	22(18)	

図22

性感染症検査・相談マップ掲載の施設情報、 検査イベント情報、情報修正依頼件数

掲載・修正依頼	2024年
施設情報	659
検査イベント情報	177
情報修正依頼	601 (うち検査施設依頼 482)

図23

性感染症サイト セッション数およびユーザー数

2024年	セッション数	ユーザー数
4月	371	171
5月	491	261
6月	338	233
7月	645	390
8月	175,492	160,156
9月	1,651	1,385
10月	1,490	1,170
11月	1,143	938
12月	1,416	1,141
合計	183,037	165,845

図24

性感染症サイト 日別ユーザー数（2024年）

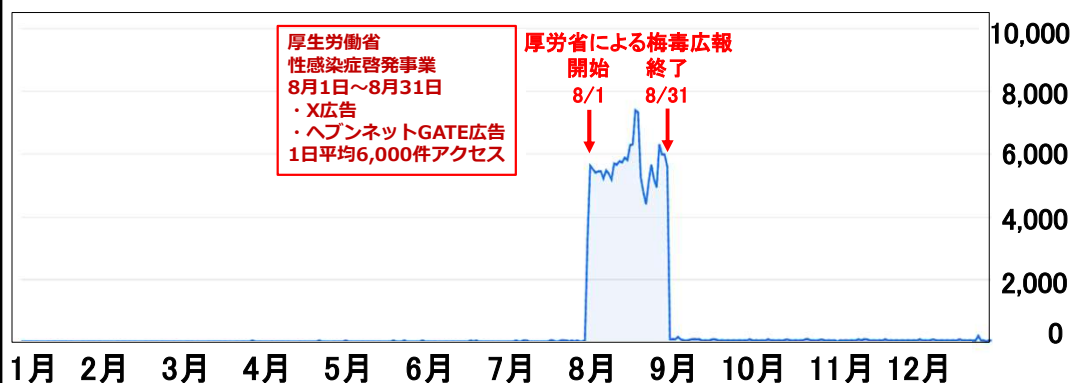


図25

性感染症サイト Google検索クエリ別月別検索順位

検索クエリ	Google件数 (2025年1月)	2024年									
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
性感染症	462,000,000	—*	—	—	—	—	—	—	—	—	
性感染症検査	60,200,000	—	—	—	—	92	89	8	12	—	
性感染症検査相談	36,100,000	—	—	—	—	4	3	3	2	3	
性感染症検査相談マップ	22,000,000	—	—	—	—	2	2	1	2	2	
性病	23,000,000	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
性病検査	4,410,000	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
梅毒	9,210,000	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
クラミジア	4,160,000	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
淋病	1,270,000	—	—	—	—	—	—	—	—	—	

* : 順位チェック範囲(100位)外

(PC版 検索順位チェックツールGRCで解析)

図26

性感染症サイト Google検索クエリ別順位

(2024年)

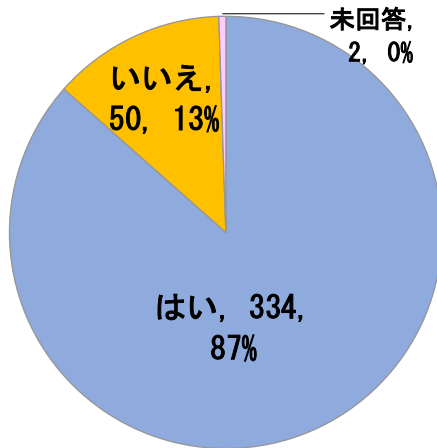
順位	検索クエリ	クリック数	平均掲載 順位
1	性感染症 相談	11	13.1
2	性感染症 東大阪 無料	10	7.7
3	性感染症検査相談マップ	8	1.1
4	性病検査 仙台 即日	8	10.2
5	hiv検査相談マップ	7	4.1
6	仙台 性病検査 即日	7	10.7
7	性病 相談窓口	7	7.6
8	性病検査 仙台 男 即日	6	9.8
9	性病検査 無料 藤沢	6	7.4
10	武蔵小杉 性病検査 無料	6	6.0

図27

(2024年)

ウェブサイト「性感染症検査・相談マップ」を ご覧になったことはありますか？

(保健所386件中)



(特設検査施設18件中)

